

教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

岐阜聖徳学園大学短期大学部では、建学の精神にのっとり宗教的情操を基調として、幅広い教養と専門的知識、技術を身につけた社会に有為な人材を育成することを目的に教育課程を編成しています。建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を必修科目として開講しています。

短期大学部では「基礎演習」を各学科共通に専門科目として位置づけることで、基礎的な学習能力やコミュニケーション能力を養成するように努めています。

幼児教育学科（第一部および第三部）では、幼稚園教諭および保育士として必要な専門的知識・技能を修得できるように教育課程を編成しています。免許・資格取得に必要な科目に加え、研究的態度および実践的能力の養成をめざし、「保育内容演習」など多彩な演習科目を開講しています。なお、幼児教育学科第三部では、勤労と学修との両立に配慮した3年間の教育課程を編成しています。

生活学科では、生活学を基礎教養として人間性豊かな視野の広い人材を育成することをねらいとし、1年以上の期間で少人数制の専門演習を開講し、問題解決能力の向上に努めています。生活学専攻生活情報コースでは、学生の職業選択の多様化に応じて、問題解決能力、情報発信、情報管理能力およびプレゼンテーション能力などを修得できるように教育課程を編成しています。また同専攻養護教諭コースでは、教育全般を理解し、養護教諭として必要な専門的知識と技能を修得できるように教育課程を編成しています。食物栄養専攻では、栄養士として必要な専門的知識と技能を修得できるように教育課程を編成しています。